

令和2年度第2回八潮市地域福祉計画推進委員会会議意見書に対する回答について

1 意見書提出期間 令和3年3月17日から令和3年3月26日まで

2 意見書提出者数・件数 提出者数 5人 提出件数 8件

3 意見と市の回答

番号	意見書の要旨	市の対応・考え方
1	コロナ禍における各事業の遅れはやむを得ないことであり、今後 with コロナでの進め方について、委員会で検討する必要があるのではないか。	施設や設備など限られた条件下ではありますが、事業ごとに新しい進め方を検討しております。令和3年度は第3期八潮市地域福祉計画の策定がありますので、コロナ禍の影響も踏まえ、新たな取り組みや方向性について検討してまいります。
2	他の福祉計画との整合性をどこまで図るか、検討する必要があるのではないか。	地域福祉計画は福祉分野の最上位計画となっております。第3期八潮市地域福祉計画の策定にあたっては、高齢者、子ども、障がい者の各分野ごとの取組にも配慮しつつ、市としての福祉分野の取組の方向性を示すような計画となるよう留意しながら進めます。
3	コロナ禍により、令和3年度以降は今以上に影響が出る可能性があるため、福祉の停滞がないようにしていただきたい。	コロナ禍という未経験の脅威により事業が思うように実施できない事態は今もなお続いております。市民の皆様の生活に与える影響が最小限となるよう、配慮しながら取り組んでまいります。
4	今年度は、コロナ禍ということもあり中止となったイベントや会議があったため、メール配信やオンライン等コロナ対策を踏まえた会議形態を検討してはどうか。	施設や設備などの制約もありますが、今後は会議をオンラインにより開催するといった方法も検討が必要であると認識しています。参加者の皆様のオンライン等への対応状況なども勘案し、より良い形で実施できるよう検討してまいります。

5	<p>子どもの貧困について、表面に出てこない貧困の実態を正確に把握する必要があるのではないか。</p>	<p>子どもの貧困についての調査は、子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後、実態調査を実施する予定ですので、その結果を踏まえ、必要な施策を検討してまいります。</p>
6	<p>「生理の貧困」が問題となっている。貧困家庭に生理用品を無償配布する取組をしてはどうだろうか。</p>	<p>「生理の貧困」の陰には、経済的な困窮や家庭内でのDVなどといった事情が隠れているものと考えられます。生理用品の提供自体は現時点で対応できておりませんが、窓口において相談を伺う中で、困窮する方の課題の本質に寄り添うような支援を進めてまいりたいと考えております。</p>
7	<p>コロナ禍の中で、福祉分野の各施策の対象となる方にどのような影響が生じて、どのように対応しているのか今後の会議で伺いたい。</p>	<p>令和2年度は、多くの事業について中止または縮小をせざるを得ない状況となりました。市民の皆様に対しどのような影響が生じたのか、令和2年度の事業実績の評価と合わせ確認するとともに報告してまいります。</p>
8	<p>市内には規模の小さい公園が多々ある。ベンチを設置し交流の場としてはどうか。</p>	<p>公園のベンチの設置については、講演管理者に対し情報提供させていただきます。施設や設備の充実以外にも、八潮市地域福祉計画では地域における居場所づくりの推進も行っておりますので、引き続き取り組んでまいります。</p>